

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和3年2月20日

公表: 令和3年2月26日

事業所名 こどもみらい園ぼらす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			十分な広さを確保できている
	2	職員の配置数は適切である	7			職員配置は法令を遵守している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			フロア内の段差の解消、トイレの手すり設置等のバリアフリー化を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			広々としており、児童の特性に合わせて環境設定やスタッフの関わり方を変えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			定期的にミーティングを開催している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			ご意見としていただいたものには、改善案を検討している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		今回2回目の公開となります。前回から改善できた部分もあれば、至らない部分もあります。今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所が提供できるよう努めてまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		現在第三者評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	1	・月～土まで利用されるお子様がいますので難しいとは思いますが、また研修を行って欲しいです。 →ありがとうございます。個人参加の外部研修だけでなく、ミーティングの時間などを活用し、職員同士で高め合っていける環境を作っていけるよう努めます。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			日頃より、保護者の方からお話を伺い、児童の様子を評価、お伝えしながら立案を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		現在は使用していない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			入職時および全体ミーティング等での周知を行う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		担当者会議を導入し、全員で現状を把握しながら支援ができる体制を作っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		児童の利用頻度にもバラツキがあるため、それに合わせた遊びや制作、活動を計画している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			児童ひとりひとりの課題に合わせた活動が行えるよう計画している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			職員同士の報告・連絡・相談をより緊密に行っていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			職員同士の報告・連絡・相談をより緊密に行っていきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			活動記録、看護記録を残し、情報の共有、支援内容の向上に努めている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		定期的なモニタリングの他に、ライフステージ等の状況の変化に応じて見直し・立案を行っている。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・今後もっと連携を取って行けるといいなと思います。特に幼稚園や小学校へ上がる前にしっかりとやり取り、情報共有が必要になる支援等、次のステップへうつる時にその子が困らないようにしていきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		・今後もっと連携を取って行けるといいなと思います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1		ライフステージの変化がある児童については、特に早期から関係機関との連絡、連携をとるよう努めている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7			医療的ケアについての指示書依頼や、支援中の疑問点などは保護者を通じてやり取りをさせていただいている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			・入園前に入園予定の園の先生と面談、話をしたりしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2		・今後、市の教育委員会等、移行支援が必要となるお子さんが出てきた時にしっかりと行ってきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		・研修等も時間をみつけて参加していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			・企業主導型保育が同一建物内にあり、活動を共に行っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	5		これから参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			利用日の送迎時に、その日の様子をお伝えし、気になる点について確認を取っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	1	今後実施していきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		契約時にご説明している。変更点があった場合には、その都度ご説明し、書面をお渡ししている。必要があれば同意書もいただいている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			児童発達支援管理責任者が説明を行い、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			悩みやご意見を傾聴し、必要に応じて助言等を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	1	現在保護者会は開催できていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			可能な限り迅速に対応できるよう連絡体制を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			活動の様子や次月の予定などをおたよりで毎月お知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			おたよりなどの写真掲載などは同意を得て行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			個々の能力に合わせて絵カードの準備や、質問の方法を工夫している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	2	・コロナ禍ということもあり、しばらくは招待は難しい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2	マニュアル策定済み。閲覧可能。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		月1回の避難訓練、年2回の通報訓練も含めた総合訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		契約時に保護者様に確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		成長に合わせてアレルギーの確認を定期的に行うとともに、献立表を配布し、食事内容の確認を保護者様にいただいている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		事業所内での転倒事故等も含め、ミーティングにて検討、共有を図っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	セルフチェック実施。研修への参加や伝達講習を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1	児童や保護者様への説明を行い、同意を得て実施している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。
無回答含む。